令和7年度 国語科 授業改善推進プラン

大田区立雪谷中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・前年度各学年で低かった「我が国の言語文化に関する事項」は目標値を上回ることができた。
- ・どれも目標値を超えており、さらに力をつけるような授業が求められる。

(2) 課題

- ・1年、3年は話すこと聞くことの指導強化
- ・2年、3年は主体的に学習に取り組む態度の強化
- ・2年は知識・技能について補充を行う。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和7年度結果	令和6年度結果	令和5年度結果
第1学年	全ての領域において目標値を上回る。	/	/
第2学年	前年度との比較+3.2 目標値+6.5	目標値+8.1 (第1学年時)	/
第3学年	前年度との比較+0.1 目標値+1.7	前年度との比較-1.6 目標値+4.4 (第2学年時)	全ての領域において目標値を上回っている。 (第1学年時)

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値+5.9ポイント 区平均・全国平均・目標値を上回る。	目標値+16.8ポイント 区平均・全国平均・目標値を上回る。	/

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値+8.4ポイント 区平均・全国平均・目標値を上回る。	目標値+10.5 区平均・全国平均・目標値を上回る。	/

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値+6.8ポイント。 区平均・全国平均・目標値を	目標値+1.9ポイント。 区平均・全国平均・目標値を	/

上回る。	上回る。	
------	------	--

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
文法・語句に関する項目が他よりも低いため、定期的な復習と小テストを行い、定着を図る。	生徒の考える時間を多く取れる授業を行い、言語化する授業展開を行う。	

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
漢字の書き取りが他よりも低いため、定期的な漢字の書き取りテストを行う。	説明的文章の読み取りや体験したことを記述する項目が低いため、具体と抽象や接続語に注目させる。また日々の生活が学習に直結することを実感させるため、各単元の導入や説明を工夫していく。	

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
引き続き基礎基本の定着を目指し、定期的な小テストを行う。情報の扱い方に関する事項の項目が他よりも低かったため、時間をかけ授業を行う。	小論文などの論理的な文章を書く取り組みを増やす。	